



第3章 森林の役割と森林づくりに当たって

1 森林の役割

～森林や木材の働きを知り、その重要性について理解しよう～

森 林には、山崩れを防ぎ、水を育んだり、生活環境を守ってくれるなどのさまざまな働きがあり、私たちはその恩恵を受けながら生活しています。その働きを理解し、その重要性を認識しながら、森林づくりに取り組んでいきましょう。

また、森林から産出される木材は、環境にやさしい優れた資材であり、さまざまな木製品として私たちの暮らしの中で活躍しています。こうした木材を、その特徴や性質により無駄なく積極的に利用することで、森林資源を循環させながら森林づくりを進めていくことが重要です。



●森林にはどんな働きがあるのでしょうか？



国土や水源を守り育てます

- 大地に深く根を張ることで地盤を守り、山崩れなどを防ぎます。
- 雨水や雪解け水を柔らかく受け止め、川に流れ出る量をうまく調整してくれます。

私たちの生活環境を守ってくれます

- 温度の急激な上昇や周囲の騒音などを抑えたり、農地などへ強風や吹雪が入り込むのを防ぐ壁の役目を果たしたりします。
- 二酸化炭素を吸収して炭素を蓄えることで、地球温暖化防止に貢献しています。



たくさんの生き物を育てます

- 猛禽（もうきん）類などの野生鳥獣や、貴重な植物、微生物など、森林は多くの生き物を育てています。

人と自然とのふれあいの場です

- 森林は心と身体を休める場や、レクリエーション、森林環境を学ぶ場でもあります。
- 美しく雄大な景観を私たちに見せてくれます。



木材を供給し、 私たちの暮らしを支えています

- 森林から産出される木材は、建物や家具の材料、紙の原料、薪や木質ペレット等の燃料などとして、私たちの暮らしを支えています。

森と海とのむすびつき

「森」と「海」。一見まったく関係のないように思うこの両者、実は深い関連性を持っています。この関係により、私たちは両方から多大な恩恵を受けながら生活しています。

森林は雨水などを受け止めて地面に浸透させ、その水をゆっくりと流す役割を持っています。その際、森林の土から栄養分が水に染み込み、流れ出ることにより、川や海へ栄養を供給します。

川では、水辺の森林から落ち葉などの有機物や昆虫などが川に落ち、さまざまな生物の餌となり、食物連鎖を通じて渓流魚や河口域の水生生物を育みます。

その一方、川を遡上するサケなどは、水辺で陸上動物や鳥の餌となることで、森林の生き物に海の栄養を供給しています。

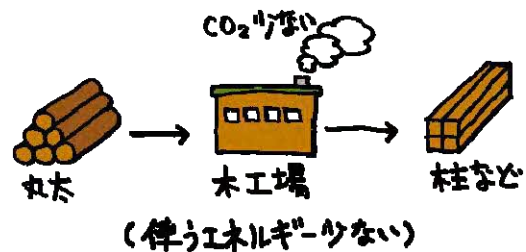


森と海は恋人のような関係だよ

●木材にはどんな働きがあるでしょうか？

環境にやさしい資材

- 木材は、少ないエネルギーで加工ができます。例えば、製材をつくる場合のエネルギー消費量は、コンクリートの6分の1に抑えられ、環境への負荷が少ない資材です。
- 森林は、二酸化炭素を吸収するとともに、木材として炭素を長期間固定するので、木製品を繰り返し長く使うことにより、地球温暖化防止にも貢献します。



木材は環境にやさしい

快適な生活空間を提供してくれる資材



木の家は快適な生活空間だね

- 木造住宅は、部屋の湿度が高いときは湿気を吸い込み、逆に乾燥しているときは水分を放出するので、室内の湿度を一定に保つ機能に優れ、快適に過ごすことができます。
- また、木材には熱を伝えにくい性質があり、例えば、木造住宅は夏の直射日光などによる室内の急激な温度変化をおさえてくれるなど、室内を快適な温度に保ってくれます。

ストレス低減などの癒し^{いや}を提供してくれる資材

- 木材が持つさまざまな特徴は、私たちのストレスを和らげたり、リラックスさせるなどの癒し効果があります。
- また、木材は、肌触りがよく、ぬくもりがあり、また多種多様な木目（木の模様）が私たちの心を和ませてくれることなどから、木造住宅をはじめとして家具やガーデニング用品、おもちゃなどとして私たちの生活の中で幅広く使われています。



木材に触れると何だか癒されるね

● 森林の役割が発揮されるためには？

期待する役割に応じた森林づくり

森林が持っている役割は1つではなく、複数の役割を兼ね備えています。どの役割を期待するかは、森林の内容や地域の特性等により異なり、それらを考慮しながら森林づくりを行うことが重要です。

※その森林の期待する役割については、所在する市町村で確認することができます。



みんなが森林の役割に期待しているよ

長期的な視点に立った計画的な森林づくり

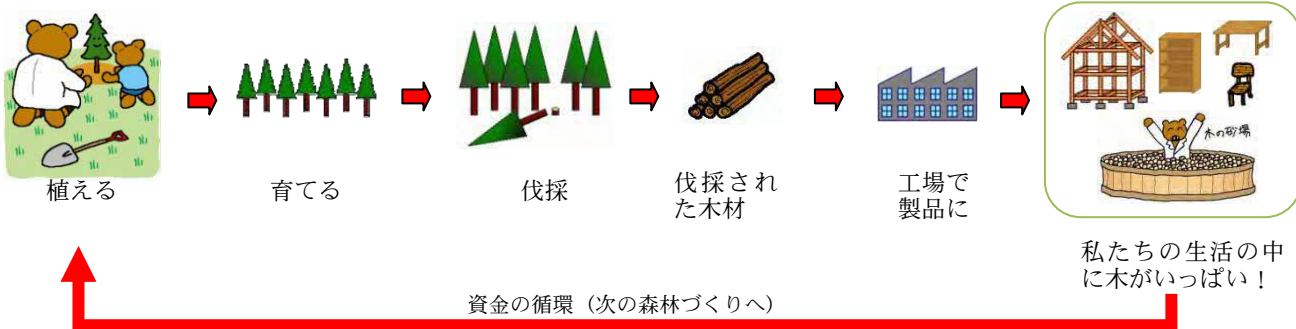
森林を育てるには長い年月が必要であり、無計画な森林づくりでは、本来の役割を果たすことができません。「植える→育てる→伐採(利用)する→また植える」といった計画的・持続的な森林づくりを行うことで、森林の役割が保持されます。



循環的な森林づくり(資源の利用)が大事だね

木材を有効利用しながら行う森林づくり

木材を有効に利用することで、次に木を植えて、育てるために必要となる資金を確保し、循環的な森林づくりを促進させます。また、有効利用により木製品等を扱う産業が活性化し、私たちの生活に多くの木製品を提供してくれるとともに、林業生産活動が活発化されます。こうした木材の有効利用を通じて、森林の持つ役割を発揮させていくことが重要です。



木材をたくさん使いながら、森林づくりを進めよう!

また、森林から産出された木材は、それぞれの木の種類ごとの特性を活かして、住宅の部材や家具などのほか、食器や割り箸、新聞紙、ノートなどのさまざまな木製品や紙製品として利用され、私たちの生活・文化の中で大きな働きをしています。さらに、住宅の部材に向かない細い木や曲がりなどの欠点のある木材についても、さまざまな用途への利用が進んでいます。

こうして、木材の特徴や性質によりさまざまな利用を進めることで、森林資源を無駄なく効率的に利用することが大切です。

2 森林づくりに当たって気をつけること

森 林には、多くの働きがあり、私たちの生活になくはならない存在です。こうした森林には、さまざまな生き物が生育しており、その中には希少な動植物なども存在します。

私たちが森林づくり活動で山に入る場合は、森林はさまざまな生き物が生息・生育する場所であることを理解し、貴重な森林を保全する取組などに協力するとともに、活動中の火の不始末などで森林を消失させないように、ルールを守って森林づくりを進めましょう。

また、森林内は、私たちが住む市街地とは異なり、さまざまな危険が潜んでいます。森林内での活動を実りあるものにするため、事故に遭わないための準備をして活動に取り組みましょう。



(1) 多様な生態系を有する森林を守ろう

～野生動植物を育む森林を大切に育てよう～

貴重な森林の保全

道内には、北国を代表する希少な動植物が生育している森林が多く見られます。こうした貴重な森林を保全し、後世に残していくことが私たちの使命です。

国や道では、貴重な森林を保全する取組を進めていますので、森林内で活動する時にこうした森林があった場合は、取組に協力しましょう。

【国有林】

- ・ 森林生態系保護地域、特定動物生息地保護林など

【民有林】

- ・ 希少野生動植物保全の森、貴重な森林(道有林保護林)など



希少な野生動植物の一例

1 キンセイラン、2 クマゲラ

緑の回廊

さまざまな種類の保護林同士をつなぎ、生き物たちが広く行き来のできる「緑の回廊」を設定し、森林生態系を守る取組が国有林を中心に行われています。こうした取組により、貴重な遺伝資源を守り、次の世代に豊かな森林資源を引きつぐことになります。



※林野庁作成

(2) 山火事を防ごう ～森林での火の取扱いには細心の注意を払いましょう～

山火事は、私たちの暮らしに恵みをもたらしてくれる森林を一瞬で奪い、また、その回復には長い年月を必要とします。こうした山火事の原因の大部分は、残念ながら人の火の不始末により起こっています。

皆さんが森林づくりの活動等を行う場合は、火の取扱いに十分注意しましょう。

【注意事項】 ～山火事を起こさないために～

たばこの始末に注意しよう

喫煙される方は携帯灰皿を必ず持参し、吸いがらは持ち帰りましょう。たばこの投げ捨てはどのような場所であっても絶対にやめましょう。



たばこの投げ捨ては絶対ダメ！

火の使用方法来に注意しよう

たき火や野焼き等を行う場合、ルールを守って実施するとともに、周囲に燃えやすいもの（枯れ草など）がある場所では行わないようにしましょう。また、火元から離れるときは、確実に消火していることを確認しましょう。



使用を誤ると、山火事で山もみんなも悲しむよ！

火を取扱う時期に注意しよう

空気が乾燥しているときや風が強いときは、山火事が発生しやすくなります。特に雪解け期から初夏まで（おおむね3月～6月）は最も注意が必要な期間です。このようなときは、森林の周辺でたき火などを避け、火気そのものを森林内に入れないようにしましょう。



時期によっては火気厳禁！



大切な森林を山火事から守ると、みんな笑顔になるよ！



(3) 森林内での事故を防ごう

～森林での活動を実りあるものとするために
事故防止を徹底しましょう～

森林ボランティア等で森林とふれあう機会が増えています。こうした森林での活動を実りあるものとするために、普段の生活の場とは違う自然の中であることを十分認識するとともに、一人ひとりが事故防止を徹底するよう心がけましょう。

【留意事項】 ～森林内での事故を防ぐために～

森林活動にふさわしい準備を進めましょう

森林内は、私たちが普段生活している環境と大きく異なります。帽子や手袋、長靴など、安全で活動しやすい服装を身につけましょう。



また、森林活動では、鎌やのこぎり、なた等の道具を使用する機会が増えます。道具の使い方などに不安のある方は、お近くの総合振興局・振興局林務課、森林室などに気軽にお問い合わせください。

林道の安全な走行に心がけましょう

林道は、一般の道路に比べて急勾配、急カーブが多いため、20～30km/hの低速で、林業用車両等の運行の妨げにならないよう十分注意して走行しましょう。



野生生物との遭遇に注意しましょう

ヒグマとの接触を避けるため、入林の際には鈴やラジオなどを鳴らしてひとの存在

を知らせるようにし、食料やゴミは密封して必ず持ち帰りましょう。

虫刺されなどを防ぐため、入林の際には長袖や長ズボンの着用を心がけましょう。特に、ハチが反応する黒っぽい服装はさけ、もし、ハチが近寄ってきた時には顔を伏せぎみにして動かず、状況を見て静かにその場を離れましょう。

ウルシなどの植物には十分に気をつけ、見つけた際には近寄らないようにしましょう。



遭難などの防止に努めましょう

標高が高い地点や天候によっては、夏でも急激に気温の下がる場合があります。森林に入るときには常に防寒や雨具の用意をしましょう。



川では、雨が降ると2日間くらいは増水の危険があります。川やダム周辺では特に注意が必要です。

また、ササやぶや見通しの悪い場所では、自分の位置を確認しながら移動し、迷わないようにしましょう。時には引き返す勇気も必要です。地形図や磁石、GPS (Global Positioning System: 汎地球測位システム) 機器なども活用するといいいでしょう。

MEMO

